

第 2 回 榛 名 地 域 審 議 会

総合計画実施計画に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
榛名地域福祉会館・図書館 (仮称)建設事業	1	福祉会館の建設について、駐車場はどうなっているのか。また、今後、新たに駐車場を広くする計画はないのか。	<p>榛名地域福祉会館・図書館(仮称)の前に11台、会館裏に2、3台、榛名支所前には約50台の駐車スペースがある。また、滑川駐車場もあるので、効率的に活用しながら福祉会館、図書館の利用者の利便性を図りたい。</p> <p>榛名地域福祉会館・図書館(仮称)完成後、外構工事として榛名支所前と会館前の駐車場を一体的に整備することも考えている。</p>
	2	福祉会館を建設するにあたり、人が活動し地域を盛り上げるには、人材の育成が重要だが、費用を賭けない方法での人材育成はどう考えているか。	<p>福祉会館関係では、福祉作業所、児童館、及びボランティア関係等がある。現在は読み聞かせ、広報高崎のテープへの吹き替え作業等をボランティアの方が実施している。</p> <p>運営については、ボランティアの方々と連携しながら進めていきたいと考えている。</p>
	3	図書館の完成後、エコール内の図書館は、どうなるのか。	基本的には図書館機能を榛名地域福祉会館・図書館(仮称)へ移転し、エコール内の図書館部分は、今後、関係機関とどのように活用していくか検討していきたい。
	4	エコール内にある公民館の各部屋が狭いため、現在の図書館を公民館として使用できるようにしてもらいたい。	【要望】
	5	<p>榛名地域福祉会館・図書館(仮称)、下里見公民館(仮称)等ができるが、榛名地域の福祉、文化、観光、農業を、力強く進めていくには人材育成が重要な要素になると思う。</p> <p>榛名地域の各分野に有能な人材育成のプログラムをどのように考えているのか。</p>	ボランティアの方々の活用だけでなく、専門的な職員の配置も当然必要になると考えている。今後、各関係機関で人材育成も協議していく。

事業名	No.	質 疑	回 答
榛名地域福祉会館・図書館 (仮称)建設事業	6	榛名地域福祉会館・図書館(仮称)を、拠点的な機能を持つ施設にする場合、久留馬地域は物理的な距離があることから、例えば、市民が図書館まで行かずに、本の貸出し等ができるような、センター的な機能を持たせた運用のための、方策を練ってもらいたい。	【要望】
	7	久留馬地域の子供たちが、土曜日に福祉会館を利用しやすいように「はるバス」などの、バスの運行を考えてもらいたい。	【要望】
	8	榛名支所庁舎の隣に榛名地域福祉会館・図書館(仮称)が建設されるが、周辺の自然と庁舎とのバランスを考えた際、外壁に関心を持っている。 現在、こういった状況になっていて、外壁の実施設計は、こういった環境のなかで決定し、それはいつ頃になるのか。	建設懇話会で意見等をいただき、基本設計ができた。現在、建築住宅課で、その基本設計を基に実施設計を行っている。外壁は、実施設計のなかで、今後協議をしながら決定していきたいと考えている。 周辺との調和については、都市計画の景観計画等の関係もあるので、建築住宅課で、関係部署と協議しながら検討していきたい。 詳細が決定したら、報告をしていきたい。
観光資源の活性化事業	1	毎年榛名湖でイルミネーションを実施しているが、ロープウェイに乗り榛名富士から見る夜景がすばらしかった。市として、この夜景を活用することも考えてもらいたい。	ロープウェイは谷川岳ロープウェイ(株)で運営している。イルミネーションの開催日のうち、20年度は土日、21年度は全日運行し、昨年は来場者16万人中約1割の方が利用した。 今後も、谷川岳ロープウェイ(株)と調整しながら行っていきたい。
	2	観光資源の活性化事業概要の「その他」にあるグリーンツーリズム、農業体験事業について22年度事業内容を説明してもらいたい。	都市型農業施設整備促進事業の施設が今後できることにより、都市との交流、体験事業の計画を検討していきたい。
	3	榛名湖イルミネーションフェスタを行い、冬の観光誘客を図っているが、榛名湖の四季折々の豊富な自然を活かして、観光誘客を図ってほしい。	【要望】
榛名地域観光施設整備事業	1	榛名神社の駐車場整備をどの辺りに考えているのか。地元の方は、消防団詰り所や郵便局の下を駐車場にと言う意見もある。私見だが、歴史民俗資料館の駐車場が各商店にひいきも無く良いと思う。	合併以前から検討していて、合併後も平成21年4月から検討委員会で検討を重ねているが、狭く限られた場所しかないため決定できていない。今後、地元の方々とも協議しながら推進していきたい。

事業名	No.	質 疑	回 答
都市型農業施設整備促進事業	1	農業組合法人「はるなアグリフーズ」等設立があるが、そのような活動の中で就職に困っている人達を、活用できれば良いと思う。 また、空地、空家の活用や、安心できるまちづくりのために消防団員の確保、農業従事者の増、山林の整備等、費用を賭けずに市民を活用し、協力を願いたい町になる事を要望する。	【要望】
下里見公民館（仮称）建設事業	1	23年度建設工事とあるが、開館予定はいつか。	24年2～3月頃の建物完成で、24年4月開館を予定している。
	2	高崎市に公民館が沢山あり、年配の方がよく活用しているようだが、若い人の活用実績を教えてください。	数字的には把握していないが、小中学生等若い方が公民館に集まるような事業展開も行っており、また、公民館図書室で読み聞かせ等にお母さん方が参加している実績もある。
	3	1小学校区1公民館という目標があるようだが、今後、他の学校区に公民館の建設計画はあるのか。	1小学校区1公民館が基本で、建設を進めているところである。下里見公民館（仮称）の完成後、榛名地域でも室田、久留馬地区から要望が出ているので、状況、環境が整えば建設を進めていきたい。
	4	里見地域には下里見公民館（仮称）が建設することが決定したが、計画から建設するまで3～4年掛かるので、久留馬、室田地域への建設の準備を早く進めてもらいたい。	室田、里見、久留馬の3地域から、公民館の早期建設の要望が提出されているところであり、状況、環境が整い次第、建設を進めていきたい。
自校方式給食拡充事業	1	榛名中学校と小学校3校（久留馬小、下里見小、下室田小）は実施計画事業に挙がっているが、計画に記載されていない学校はどうなっているのか。	各学校にそれぞれ給食室ができれば良いが、建設場所、児童数等の関係で親子方式を取り入れている。榛名中学校は単独で、久留馬小学校から宮沢小学校、下室田小学校から中室田小学校と上室田小学校へ、及び下里見小学校から里見小学校へ給食を運搬する親子方式の体制となる。
	2	榛名中学校、久留馬小学校が4月から自校方式の給食が始まったが、子ども達や父兄の反応等を聞いていければ、教えてください。	自校方式が開始し1ヶ月程度だが、現在給食に対する意見は聞いていない。
	3	榛名中学校PTAの代表だが、何人かに話を聞くと、最初の頃は化学調味料でなくカツオぶしからだしを取っているため、味が薄い	【報告】

事業名	No.	質 疑	回 答
自校方式給食拡充事業		(前頁からの続き) 言う意見もあったが、今はすごく美味しいと子ども達も言っている。 また、温かい物は温かく食べることができるので好評だ。しかし、もう少し給食の量を増やしてほしいという、父兄の意見もある。	
	4	自校方式の拡充となっているが、親子方式で子を予定している学校は、今後、給食室を設置する予定はないのか。	現段階では、親子方式の継続を考えている。しかし今後の状況等考慮して、自校方式へ変わる可能性の学校もある。 里見小学校については、給食室を建設する適当なスペースがないが、今後、校舎の建て替え計画と併せて総合的に検討していきたい。
榛名南麓フルーツライン整備事業	1	他県ナンバーの車がフルーツラインを利用しているが、道路が行き止まりになる前に「通り抜けできません」、「道幅狭小」などの標識を立ててもらいたい。	【要望】
	2	フルーツラインと交差している県道「榛名山箕郷線」は、以前から競輪選手の練習コースや、若者のサイクリングコースとして利用されている。また、観梅の時期には、観光バスで県外から来場者もある。 フルーツラインを、サイクリングコースとして活用し、また、梅の時期に併せて集客する宣伝活動を市で行うと、さらに地域の活性化に繋がると思う。	【要望】
汚水管渠整備事業	1	梅マラソンのコースになる上里見信号付近が、今年度の工事予定になっている。前年の梅マラソン時は前々日に工事が終了したため、年度末でなく早い時期に工事を終わらせてほしい。	【要望】

報告事項に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
榛名宮本町活性化事業	1	21年度地域審議会でも報告・質疑等があったが、駐車場の関係はどう対応するのか。	榛名宮本町活性化事業は、平成18年度からさまざまな形でソフト事業を実施している。駐車場整備等はハード事業となり、本事業の対象外事業となるため、地元の商店や住民の皆さんで、協議、検討を行っていただきたいと考えている。

その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
久留馬地域の施設整備について	1	昭和30年に室田、里見、久留馬の3地域が一つになり榛名町ができたが、この3地域の調和のとれた発展は非常に大切だと思う。今後、久留馬地域の過疎化が進展してしまうのではないかと危惧を抱いている。 これから様々な事業整備をしていく上で、3地域のバランスのとれた事業整備をお願いしたい。	【意見】
中核市・政令指定都市への移行について	1	高崎市第5次総合計画に、将来都市像として政令指定都市を目指すこと記載されている。このことについて、具体的にどのように考えているのか。また、アプローチがあるのか説明をしてもらいたい。	高崎市第5次総合計画は、19年度まで、色々な方々の意見等をもらい、審議会を経て平成20年度からスタートした。その検討の結果、将来の市の姿として、将来的には群馬県のみならずということで、本市は政令指定都市を目指すという記述をしている。 実際には、来年度から中核市へ移行の運びとなり、こういった、都市づくり、まちづくりを重ねていくことに、中核市の先へ向けた将来の市の姿という意味合いで記述をしている。 現在、高崎市は、北関東信越地域のなかで代表都市という認識があると思われる。さらに、全国に顔の見える都市として、中核市の先へ向けた取り組みを引き続き積み重ねていきたいという決意の表れと理解していただきたい。

内容区分	No.	質 疑	回 答
西毛広域幹線道路について	1	<p>車社会のなか、榛名地域において、西毛広域幹線道路ができることにより地域の発展に繋がると思う。</p> <p>西毛広域幹線道路は県の事業だと思うが、高崎市に協力を願い早期に完成をしてもらいたい。</p>	<p>県の担当部署が、今年度事業の地元説明会の開催を予定しているので、その時点で具体的なことが分かってくると思われる。</p>

